

# 鈴鹿山脈・鎌ヶ岳

人気の山を歩く

2019年10月13日（日）曇り時々晴

L：服部文鳥、ヤマメ、磯部N

紅葉がそろそろ始まっているかなと期待しながら、宮妻峽の駐車場へ着いた。が、連日の秋らしくない気候のためか、木々の色づきにはほど遠い。残念！

ただし、このところ、週末ごとに雨が降るか、曇り空でなんともすっきりした山行ができていなかったが、ようやく、晴れ間の山行ができそうだ。

今回は、鎌尾根コースから鎌ヶ岳をめざす。このコースは、途中で鎖場があったり、ミニ蟻の戸渡りが有ったり、地図上に危険マークがつくルートなので、歩く人が少ない。



秋を感じる赤い実

林道を1時間くらい歩いて、ようやく水沢(すいざわ)峠へ向かう登山口につき、

峠まで沢沿いに登っていく。道はよく踏まれているが、峠直下では細いトラバース道や滑りやすい一枚岩も出てきて、少しスリリングだった。



安全なルートを確認中

峠へ出ると、気持ちの良い尾根歩きが始まる。三重県側には、伊勢湾や知多半島が見える。



伊勢湾が光っている

鎌尾根コースは峠から水沢岳まではさほどのアップダウンも無いので歩きやすい。



秋が遅い雑木林

水沢岳を過ぎると花崗岩の山なので所々で登山道の風化が進んでいるし、急な下降地点もある。キノコ岩の横を下る時にはズレて滑りやすいので緊張した。



キノコ岩を振り返る



ガレの上部を通過

その後も、ヤセ尾根やガレの淵を歩く登山道が続き、岳峠からは急なごろ石と岩場の連続になった。これが、疲れた足に応えた。



山頂標と左手に双耳峰の雨乞岳  
4時間程で頂上に着いた。

頂上は狭いが、休憩する人、食事する人、撮影の人など思い思いに楽しむ人で混んでいた。

天気がよくて、まだまだ人が登ってくる。

山頂からは 御在所岳、雨乞岳、イブネ、クラシなどなどの山々が見えた。

やはり、周りの山や、眼下に海や町が見えるのは本当にきもちがいい！

徐々にゆっくり休んで下り始める。  
下りはカズラ谷コースを取る。



道標も多い

大抵の人が湯ノ山温泉側から入山しているのに、宮妻峡へ下りる人は少ない。

それでも、カズラ谷コースも良く踏まれている道だった。一箇所、行き先不明の道もあったが、おおよそ道標がしっかり着いている。



キノコびっしりの倒木



滝もあった！

思いがけず小さい滝もあって、嬉しくてみんなでシャッターを切った。

沢に出会ってから2回ほど渡渉もあった。ふだんより、水量は多いイメージ。

それにしても花崗岩の沢の水は、きれいだった。



カズラ谷コース出口

2時間弱で駐車場へ戻った。

沢登り、岩登り、縦走などいろんな要素があって、楽しく歩けたコースだった。

磯部規子記